

第4回多治見市教育基本計画策定市民委員会

会議資料

【資料1】第3回委員会からの変更点

令和5年1月23日

次期基本計画(概要)

1.めざす子ども像

お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子

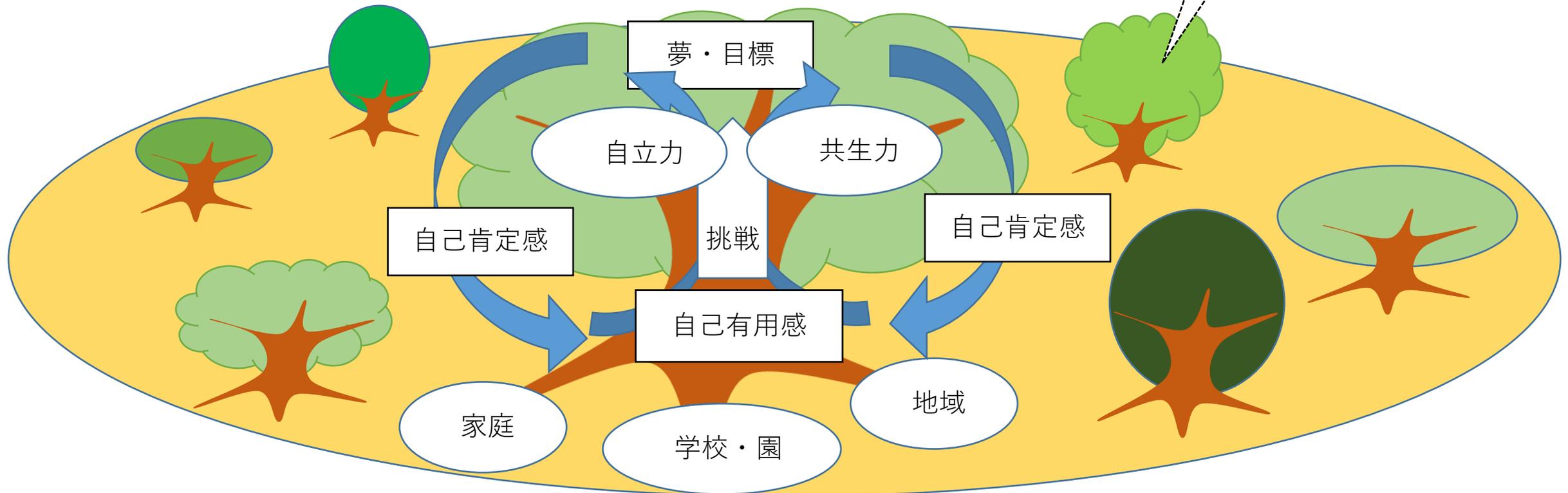
変化が激しく予測が困難といわれるこれからの社会をたくましく生き抜いていくために、主体的に考え、多様な他者と協働し、自分の夢や目標に向かって、失敗を恐れず挑戦する多治見の子をめざします。

2.子ども像実現のために

家庭、学校・園、地域での関りを通して認識した自分の良さや可能性(自己有用感)をもとに、夢や目標に向かって努力(挑戦)を続けることで、主体的に考える力(自立力)、多様な他者と協働する力(共生力)を育て、小さくても確かな自信(自己肯定感)につなげます。

このような夢や目標に向かって挑戦を繰り返すことができる教育環境をインクルーシブの観点を踏まえて整えることで、子ども像の実現をめざします。

土壌である家庭、学校・園、地域を示す土壌を大きくして、土壌からたくさんの木が育つイメージに。

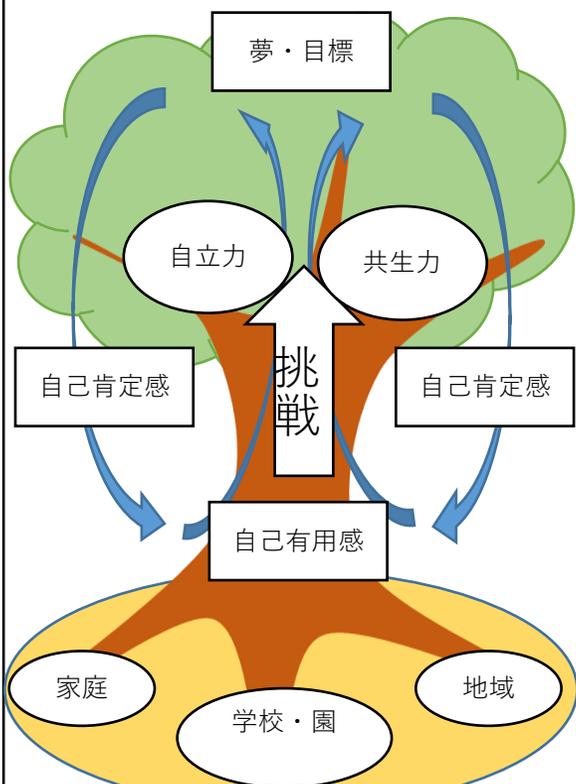


3.計画の体系

めざす子ども像

お互いを尊重し、主体的に学び、挑戦する多治見の子

子ども像実現のために



基本施策

施策1

体力・学力を高める教育・保育の推進

施策2

社会性と豊かな心を育む教育の推進

施策3

家庭、学校・園、地域の連携の推進

施策4

多様な課題に応じた支援の推進

施策5

学びを支える教育環境の充実

○施策及び施策に対する事業一覧

事業	事業内容
施策1 体力・学力を高める教育・保育の推進 <div data-bbox="96 249 840 442" style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 学力・体力の順番がよい→ 園遊びの中でまず体力をつけ、体力を資本として学びにつなげる </div>	<ol style="list-style-type: none"> 1 運動の楽しさを感じる取組の充実 2 主体的・対話的で深い学びの実現 知識・技能・学習習慣の定着 3 情報活用能力の育成 4 食育による健やかな心身の育成
施策2 社会性と豊かな心を育む教育の推進	<ol style="list-style-type: none"> 1 心の教育の充実 2 キャリア教育の推進 3 読書活動の充実 4 郷土愛を醸成する教育の推進
施策3 家庭、学校・園、地域の連携の推進	<ol style="list-style-type: none"> 1 親育ち支援事業の充実 2 青少年健全育成事業の推進 3 学校運営協議会の活性化 4 各種団体と連携したジュニアクラブの推進
施策4 多様な課題に応じた支援の推進	<ol style="list-style-type: none"> 1 いじめ・不登校の未然防止と対応 2 特別支援教育における支援体制の充実 個々の教育的ニーズに対応した環境整備 3 個々の教育的ニーズに応じた支援 4 学童保育(たじっこクラブ)の充実
施策5 学びを支える教育環境の充実	<ol style="list-style-type: none"> 1 教職員の働き方改革の推進 2 幼保小中一貫教育の推進 3 安心・安全な教育環境の確保 計画的な教育施設や設備の充実 4 安全な教育環境の維持

「主体的・対話的で深い学びの実現」は学習指導要領にもある大事な言葉であるため残してはどうか。

体力・学力を高める教育・保育の推進

事業	具体的な事業
1 運動の楽しさを感じる取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わう機会の提供(ACP※¹、たじっこCityCup(仮称)※²等 チャレンジスポーツ等) ・幼稚園・保育園での「いきいき運動遊び」の充実 実施 ・豊かなスポーツライフの実現に向けた保健体育の授業等の充実 及び研修の実施
2 主体的・対話的で深い学びの実現 知識・技能・学習習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・集中力や自信を高める幼稚園・保育園の「いきいき遊び」の実施 ・学ぶ意義や喜びを味わう授業の充実 及び研修 ・学力調査を活用した指導改善を図る学力向上推進研修会の開催
3 情報活用能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・Society5.0を 生きる力を育むデジタルシチズンシップ※³教育の実施 ・児童生徒、教職員のICT活用能力を高める ICT教育推進員による児童生徒及び教職員への支援の実施 ・「学校情報化認定※⁴」基準に沿った情報化の推進 ・「ICT活用ガイドブックfor Teachers」の活用
4 食育による健やかな心身の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全で魅力あるおいしい学校給食の安定した提供 ・望ましい食習慣を身に付けるための学校・園での食に関する指導の充実 ・地域への感謝の気持ちを育むための市内産農産物の活用 ・家庭への食に関する啓発

※1 ACP(アクティブチャイルドプログラム)・・・子どもたちが楽しみながら積極的に体を動かすこと

※2 たじっこCityCup(仮称)・・・多治見市内の小・中学生等を対象に、多様な種目の記録をネットで登録して競い合う取組

※3 デジタルシチズンシップ・・・情報技術の利用における適切で責任ある行動規範

※4 学校情報化認定・・・日本教育工学協会が審査し、総合的に学校の情報化を進めたと認定すること

社会性と豊かな心を育む教育の推進

前回の「考え議論する道徳の実施」の方が、子ども達の対話的な学びにつながる。

事業	具体的な事業
ア 心の教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「考え、議論する道徳」の実施 自らの生き方を見つめる道徳の時間の実施のための指導・助言 ・子どもの権利を含む人権教育研修の実施 ・いじめや差別偏見のない正しい人権感覚の育成 ・地域、幼稚園・保育園、学校間 や校種間 で連携した豊かな体験活動の推進
イ キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・所属感を高め 自己の良さや可能性を発揮する学級経営の充実 ・自身の成長を振り返る記録「キャリアパスポート※」の活用 ・企業や各種団体と連携した職業講話、職場体験の実施
ウ 読書活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を楽しむ読書から学ぶ機会の充実 読書の楽しさを味わう機会の充実（読み聞かせ・ビブリオバトルブックトーク・読書イベント・電子書籍等） ・学校図書館機能の充実 読書から学び、表現する機会の充実（読書会・読書コンクール・読書発表会・読書感想文・ビブリオバトル等） ・子どもの読書活動の評価改善を図る「子どもの読書活動推進計画」の実施
エ 郷土愛を培うための推進	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜学習講座「わがまち 多治見大好き講座」の実施 ・地域の文化財を活用した学びの機会の充実 ・地域について学ぶ社会科副読本の改訂及び活用 ・将来の地域のリーダー養成をめざす連合生徒会の開催

「読書タイム」を加えてはどうか。
→学校では時間をとるのが難しい状況であるため、読書する習慣を身につけるようにすすめる。

ICTを活用した読書の推進、本に漫画、絵本を加えてはどうか→来年度改訂の読書活動推進計画に委ねる。

卒業生や地域のお手本となる人物等身近な方と触れ合う機会があるとよい。→実施時に考慮する

※キャリアパスポート・・・児童生徒が小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる活動について、特別活動の学級活動等を中心として、自らの活動状況やキャリア形成を見通し、振り返りながら、自身の変容や成長を自己評価した記録を綴ったファイル

家庭、学校・園、地域の連携の推進

事業	具体的な事業
ア 親育ち支援事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の保護者を支援する、「親育ち4・3・6・3たじみプラン」の推進 ・次世代育成フロアの特性と親子ひろばを活用した子育て支援事業の推進
イ 青少年健全育成事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年まちづくり市民会議が行う催しへの児童生徒の主体的な参加及び参画を推進 ・各校区の青少年まちづくり市民会議の情報交流による活動の充実
ウ 学校運営協議会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校に学校運営協議会を設置し、家庭、学校、地域の連携を推進 ・学校運営協議会を活用し、保護者や地域住民の学校運営参画を推進
エ 各種団体と連携し、ジュニアクラブの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の部活動・ジュニアクラブ活動の推進 ・各種団体等の連携によるスポーツ及び文化活動の機会の拡充

施策の方向性に幼稚園・保育園の連携、協働が記載されているが具体的な取組に記載されていないのは？
 →幼稚園・保育園は地域の一部と捉える。説明文書を修正。

多様な課題に応じた支援の推進

いじめの未然防止と対応は施策2に記述されている。→施策2の現状と課題で「いじめや差別偏見のない人権感覚を身につけ」として触れる。施策4では具体的な対策を記載。

事業	具体的な事業
<p>ア いじめ・不登校の未然防止と対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート、ハイパーQU※による調査の実施 ・年2回のハイパーQU※による調査実施 ・小学校中学年への教育支援員の配置 ・校内教育支援室の充実 ・さわらび学級の機能拡充
<p>イ 特別支援教育における支援体制の充実 個々の教育的ニーズに対応した環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期から学齢期にかけて切れ目のない支援 ・看護師の確保・配置による医療的ケア児への支援 ・発達相談支援体制の充実 ・特別支援コーディネーターの専門性の向上 ・ユニバーサルデザインの授業づくりの推進
<p>ウ 個々の教育的ニーズに対応した支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的な支援を必要とする児童生徒への支援 ・日本語指導の必要な児童生徒への個々の状況に応じた支援
<p>エ たじっこクラブ(学童保育)の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設面と運用面における受入体制の充実 ・支援員の質の向上をめざしたクラブ間の研修や交流の開催及び有資格支援員の増員推進 ・第三者委員会による適切な事業評価

※ハイパーQU・・・いじめの発見と予防、学校崩壊の予防等を講じるため、楽しい学校生活を送るためのアンケート

学びを支える教育環境の充実

県が「架け橋プログラム」を策定中。県と連携するとよい。→県で作成したプログラムに沿って子ども支援課と連携して進める。

事業	具体的な事業
ア 教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のゆとりある学校生活の推進 ・教職員の心身の健康維持促進 ・サポートスタッフ及び地域人財の活用 地域人財を活用する支援体制の整備 ・教職員のICT活用能力向上を推進 ・ICTを活用した業務の効率化の促進
イ 幼保小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・多治見市型幼保小中一貫教育の推進 ・幼保小の架け橋プログラムに沿った幼保小の連携強化 ・義務教育期間における学びの連続性や系統性を重視した多治見市型幼保小中一貫教育の推進
ウ 計画的な教育施設や設備の充実 安心安全な教育環境の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)笠原小中学校の建設 ・学校施設の更新計画の検討(学校施設整備計画の見直し) 老朽化を踏まえた教育施設の整備計画の検討 ・学校施設整備計画に基づく長寿命化、大規模改修事業の推進 個別保全計画による施設整備の推進 ・タブレット端末の更新(3か年計画)
エ 安全な教育環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設整備計画に基づく長寿命化、個別保全計画による施設整備の推進